

事業所向け自己評価表（放課後等デイサービス）

ゆり庵キッズクローバーひかりヶ丘

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	学習スペースを学習後に静かに過ごす場所として使用用途を変えたり、庭や公共施設への外出で対応している。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	0	3	連絡帳の確認や記入時に人手が足りないことを感じる。役割を決め効率よく動けるように工夫していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	2	階段や玄関に段差有。しかしそれを利用して足を上げるなどの支援のツールとして利用している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	3	2	0	昼礼で各自の課題の状況等の情報交換の内容を密にし、対応を柔軟に変えていく。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査等を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3	0	アンケート結果自体の不十分さもあるが、有効に使われていない。 要望があった際には、スタッフで共有し改善できることはしている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	今年度より実施。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	3	現在会社として第三者評価を受けてはいないが、内部監査にて業務改善に繋げている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	今年度も強度行動障害支援者養成研修への参加や社内研修を実施している。研修の機会が多く、報告書を作成する時間が確保しにくい。
適切	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	3	0	現在定期的にあセスメントができていない状況。来年度より毎年アセスメントをするようにスケジュール化をすることと、記入しやすい書式を準備予定。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	1	アセスメントツールは現在ないため、準備予定。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	1	主任児童指導員と児童指導員で検討している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2	0	自転車の練習はほぼ毎日しているが、運動プログラムの少なさを感じる。土曜日などに入れていく。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	1	0	ご利用者の状況に合わせて課題を準備している。

な 支 援 の 提 供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2	0	個別活動と機会利用型支援を通じての集団活動（トランプやアナログゲーム）による支援を実践している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	昼礼を実施し、前日の引継ぎや当日のご利用者の確認、課題、支援の方向性や方法の確認をするように実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	1	0	メモ等でその日の様子を引き継いでいる。またそれを日報に記載するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	今年度は特に記録の書き方には力を入れてきた。支援内容、結果、考察の視点を記すようにしてきた。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	1	2	職員間でのモニタリングは行なわれているが、保護者とのモニタリングが行われていない。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	3	0	ガイドラインの全員周知ができていない状況。定期的にガイドラインの読み合わせを実施予定。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	主に児発管だけが参加している。今後は時間の許す限り児童指導員も参加する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2	0	保護者や学校と連絡を取り合い、下校時間の変更を共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	0	4	1	対象者なし。
	㉓	就学前に前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	4	1	対象者なし。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0	保護者や卒業後に利用する事業者から情報提供を求められることがない。しかし保護者の了解を得て、弊事業所より積極的に卒業後の担当者会議に出席できるように相談事業所に働きかけていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	0	5	特に行っていない。

携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	公園などで自然発生的に遊びが始まることはある。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	3	宗像市放課後等デイサービス連携会議に参画している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	送迎時に家庭や学校での様子を聞くようにし、成長の様子も伝えている。連絡帳を介して、保護者の要望、ご利用者の家庭の様子を知るようにしている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	0	5	まずは保護者交流会など敷居の低い企画から始めることを検討中。またペアレントトレーニングを実施するために職員がペアトレの研修に参加することも検討。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2	0	利用契約時に説明しているが、利用料について報酬改定時に行なえていないので、早急を実施する。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	0	可能な限り行なっている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	5	実施したいが、現状行なえていない。②⑨同様敷居の低い企画から始めることを検討中。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速且つ適切に対応しているか	5	0	0	すぐに謝罪をし、改善するように努めている。また職員にも周知徹底している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	毎月会報やブログにて行事のお知らせ、普段の様子を発信している。今後通信にブログのQRコードを掲載していく。
	③⑮	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0	他児の前でご利用者の話をしないことを徹底したり、写真使用については承諾書をとっている。また個人情報保護マニュアルを作成している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	2	0	スケジュール帳やカード等視覚的に分かりやすいものを使用している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	5	地域の清掃活動に参加している。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	1	策定及び職員への周知はできている。毎月の社内研修にて再確認していく。保護者への周知ができていない。ホームページに掲載予定。

非常時の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	2	2	1	机上の想定訓練を実施。今後実地訓練も検討していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	年に一度実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	2	現在まで身体拘束をしないといけない事例なし。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	0	2	3	保護者からの情報に基づき対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集作成して事業所内で共有しているか	3	1	1	実施してはいるが徹底できていない状況のため再度徹底していく。